

指定管理者評価シート

事業名	身体障害者福祉センター費	所管課(電話番号)	保健福祉局障がい保健福祉部身体障害者更生相談所(641-8852)
-----	--------------	-----------	-----------------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市身体障害者福祉センター	所在地	札幌市西区二十四軒2条6丁目1-1
開設時期	A棟 昭和53年8月1日 B棟 昭和62年4月1日(増築)	延床面積	A棟 3,427.56㎡ B棟 1,848.75㎡ 合計 5,276.31㎡
目的	身体障がい者の福祉の増進を図ることを目的とする。		
事業概要	(1) 各種相談(就職相談、結婚相談、身の上等相談)の実施 (2) 機能回復訓練、音声機能訓練、失語症言語訓練及びオストメイト社会生活訓練の実施 (3) 各種行事、活動育成事業、各種教養講習会やスポーツ教室の講習会等の実施 (4) 身体障害者福祉専用バスの運営事業 (5) 受付案内、図書コーナー等施設の利用等に関する業務障害者社会参加推進センター運営事業 (6) 自主事業(食堂運営)の実施 (7) 障害者社会参加推進センター運営事業その他福祉センターの設置目的を達成するために必要な業務 (8) その他福祉センターの設置目的を達成するために必要な業務		
主要施設	体育館、卓球室、研修室、第1～3会議室、音楽室、和室、大会議室、料理実習室、陶芸室、パソコン室、機能回復訓練室、水浴訓練室、各団体事務室(6室)、食堂、福祉用具展示コーナー		
2 指定管理者			
名称	公益社団法人 札幌市身体障害者福祉協会		
指定期間	平成28年4月1日～平成32年3月31日		
募集方法	非公募 理由: 当該施設の設置目的と団体の設置目的が一致しており、関係団体との連携による効率的な運営を図ることができるため。		
指定単位	施設数: 1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	(1) 総括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 管理業務に付随する業務		
3 評価単位	施設数: 1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 平成29年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1)統括管理業務	<p>次の業務計画に則り、統括管理業務を行った。</p> <p>▽管理運営に係る基本方針</p> <p>(1) 札幌市の公の施設であることを常に念頭におき、市民の福祉の増進に努め、市民の公平な利用に供するよう管理運営を行うこと。</p> <p>(2) 施設の設置目的等に資するよう適切な管理運営を行うこと。</p> <p>(3) 「さっぽろ障がい者プラン」に定める目標の達成その他札幌市の障がい福祉政策との整合性を図りながら施設の管理運営を行うこと。</p> <p>(4) サービス水準の維持向上に努め、安定的かつ継続的なサービスの提供がなされるよう管理運営を行うこと。</p> <p>(5) 利用者や地域住民の声を常に把握し、施設の管理運営に反映させること。</p> <p>(6) 最少の経費で最大の効果を挙げるよう管理運営の効率化に努めること。</p>	基本方針に沿って、利用者本位の安全で安定した管理業務を遂行し、適切な運営に努めた。	<table border="1" data-bbox="1332 302 1540 336"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>管理業務仕様書に沿って、適切な維持管理が行われている。</p>	A	B	C	D
	A	B	C	D			
	<p>▽平等利用の確保に向けた考え方と取り組み</p> <p>市民の障がい者福祉増進のための身近な存在として愛され、親しまれる施設として、障がいによる差別がなく、誰もが安心して利用できる施設運営を行うことが重要であると考え、次のことを基本に据え平等利用の確保を図る。</p> <p>(1) 人に優しく、心の通い合うサービスの提供</p> <p>(2) 誰もが分け隔てなく安心して等しく利用できる施設づくり</p>	明るくはきはきとした対応を心がける等、管理業務計画に沿って実施することができた。	適切に実施されている。				
	<p>▽地球温暖化防止対策及び環境配慮の推進</p> <p>(1) 消灯や適正な温度設定を行うことにより、電気使用量、重油使用量の節約に努めるとともに、センター事務室で一括管理を行う。</p> <p>(2) 空調調和設備の冷暖房温度を夏26度・冬24度を基準温度として設定管理する。</p> <p>(3) ボイラーの負荷率を100%に設定管理し、ボイラーの不完全燃焼の防止を図る。</p> <p>(4) 所有する車両のアイドリングを可能な限り抑制し、排気ガス排出の減少を図る。</p> <p>(5) 職員に対し、温度管理への協力を強く求める。</p> <p>また、ロードヒーティングの使用電気料を抑制するため、気象情報を適切に把握し稼動する。</p>	環境配慮への意識を高めてエネルギーの節約に努め、計画どおり実施することができた。	適切に行われている。今後も引き続き、省エネルギーに向けた取り組みに努めること。				
<p>▽管理運営組織の確立（責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成・研修計画）</p> <p>(1) 業務分担、指揮命令系統、連絡系統等を定め、職員が分掌事務を確実に行うことで安定した管理業務を遂行する。</p> <p>(2) 職員個々が市民サービスの向上、管理経費の縮減に意欲を持って取り組めるよう、安全衛生などを含め十分な労働環境を整える。</p>	計画どおり実施することができた。	適切に行われている。今後もサービス向上に取り組むこと。					

<p>▽管理水準の維持向上に向けた取り組み 業務の見直しを日常的、継続的に取り組み、管理水準の維持向上に努める。</p>	<p>計画どおり実施することができた。</p>	<p>適切に実施されている。</p>										
<p>▽第三者に対する委託業務等の管理（業務の適正確保、受託者の適切監督、履行確認） 清掃、警備、各保守点検業務について、仕様書のとおり実施した。日々の業務について、日報の提出により履行確認を行った。</p>	<p>計画どおり実施することができた。市内企業、福祉団体を積極的に活用し発注した。</p>	<p>適切に実施されている。</p>										
<p>▽札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会の開催等）</p> <table border="1" data-bbox="248 595 1034 1133"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>協議・報告内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 平成29年6月27日</td> <td>・平成28年度札幌市身体障害者福祉センターの利用状況 ・平成29年度身障センター利用者アンケートの実施について</td> </tr> <tr> <td>第2回 平成29年9月28日</td> <td>・平成29年度の修繕、備品購入等の状況について ・平成29年度身障センター利用者アンケートの結果について ・各種行事の実施予定</td> </tr> <tr> <td>第3回 平成29年12月25日</td> <td>・第2回運営協議会以降の修繕、備品購入等の状況について ・平成29年度第2回防災訓練の実施について</td> </tr> <tr> <td>第4回 平成30年3月26日</td> <td>・平成29年度第2回防災訓練の結果について</td> </tr> </tbody> </table> <p><運営協議会> ・札幌市（札幌市身体障害者更生相談所） ・指定管理者（札幌市身体障害者福祉協会） ・利用者団体等（札幌市視覚障害者福祉協会、札幌市肢体障害者協会、札幌市中途失聴・難聴者協会）</p>	開催日	協議・報告内容	第1回 平成29年6月27日	・平成28年度札幌市身体障害者福祉センターの利用状況 ・平成29年度身障センター利用者アンケートの実施について	第2回 平成29年9月28日	・平成29年度の修繕、備品購入等の状況について ・平成29年度身障センター利用者アンケートの結果について ・各種行事の実施予定	第3回 平成29年12月25日	・第2回運営協議会以降の修繕、備品購入等の状況について ・平成29年度第2回防災訓練の実施について	第4回 平成30年3月26日	・平成29年度第2回防災訓練の結果について	<p>3か月に1回以上の運営協議会の開催が求められており、計画どおり実施することができた。</p>	<p>適切に実施されている。今後も引き続き、3か月に1回以上運営協議会を開催するとともに、札幌市及び各関係機関との連絡調整を密にし、利用者サービスや管理水準の維持向上に向けた取り組みを行うこと。</p>
開催日	協議・報告内容											
第1回 平成29年6月27日	・平成28年度札幌市身体障害者福祉センターの利用状況 ・平成29年度身障センター利用者アンケートの実施について											
第2回 平成29年9月28日	・平成29年度の修繕、備品購入等の状況について ・平成29年度身障センター利用者アンケートの結果について ・各種行事の実施予定											
第3回 平成29年12月25日	・第2回運営協議会以降の修繕、備品購入等の状況について ・平成29年度第2回防災訓練の実施について											
第4回 平成30年3月26日	・平成29年度第2回防災訓練の結果について											
<p>▽財務（資金管理・現金の適正管理） (1) 他の業務と経理を明確に区分し、収支その他経理に関する記録等を整備する。 (2) 指定管理に係る経費の収支については、独立した預金口座により管理する。</p>	<p>計画どおり実施することができた。</p>	<p>適正に処理されている。</p>										
<p>▽要望・苦情対応 施設の管理に関する利用者その他の市民からの要望、苦情等に迅速かつ適切に対応し、その結果を札幌市に報告した。</p>	<p>改善できる場所から取り組んだ。</p>	<p>今後も引き続き、利用者からの要望等があれば迅速かつ適切な対応を行うこと。</p>										

<p>▽記録・モニタリング・報告・評価（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施）</p> <p>(1) 記録 業務の実施に関する記録・帳簿等を整備し、保管した。</p> <p>(2) セルフモニタリング 福祉センターの管理運営業務の実施状況及び利用者の声（利用者アンケート）について自ら監視・測定を行った。</p> <p>(3) 事業等の報告 協定で定めるところにより、「管理業務の実施状況報告書」等の各書類を札幌市に適宜提出した。</p> <p>(4) 札幌市の検査・確認・要請に対する対応等 施設の管理運営の一切に関する札幌市の検査・確認・要請等に誠実に対応した。</p> <p>(5) 事業評価 施設の利用状況、セルフモニタリングの結果等を踏まえ、札幌市が定めるところにより、管理業務の自己評価を行い、事業報告書の提出に合わせて札幌市に報告した。</p>	<p>計画どおり実施することができた。</p>	<p>適切に実施されている。</p>													
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>(1) 職員に対して、最低賃金810円（平成29年10月1日適用）を上回る1,313円（正規職員2,063円）以上の時給を支給している。</p> <p>(2) 職員が時間外労働・休日労働をした場合、法定割合の割増賃金を支払った。</p> <p>(3) 職員の労働時間は、週40時間、1日8時間を順守した。</p> <p>(4) 全ての職員は雇用保険、厚生年金、健康保険に加入し、必要な届出等も適宜適切に行った。 また、年1回定期健康診断を実施した。</p> <p>(5) 第三者委託により実施している業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関わる情報提供を求めた。</p>	<p>計画どおり実施することができた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">労働関係法令等を遵守しており、今後も同様であること。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	労働関係法令等を遵守しており、今後も同様であること。							
A	B	C	D												
労働関係法令等を遵守しており、今後も同様であること。															
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽総括的事項（利用者等の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入）</p> <p>(1) 利用者等の安全については、業務仕様書及び法令を遵守することにより確保した。</p> <p>(2) 拾得物の取り扱いについては、センター受付で保管し適切に管理しサービスの向上に努めた。</p> <p>(3) 損害賠償保険は仕様に適合したものに加入した。</p> <p>▽施設・設備等の維持管理（清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、外構緑地管理等）</p> <p>清掃、警備、設備保守点検業務等について、仕様書のとおり実施した。 卓球室壁修繕、和室襖張替、給湯一次循環ポンプメカニカルシール・玉軸受取替、水浴訓練室汚物流しフラッシュバルブ交換、視覚協会事務室建具修理等を行った。</p>	<p>計画どおり実施することができた。</p> <p>安全かつ安定した維持管理業務を遂行した。 左記のとおり、利用者の安全に配慮した整備を行った。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">管理業務仕様書に沿って、適切な維持管理が行われている。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">適切に業務履行がなされている。 備品管理、修繕については常に点検等を行い、不具合等が発生した場合は迅速かつ適切な対応に努めること。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	管理業務仕様書に沿って、適切な維持管理が行われている。				適切に業務履行がなされている。 備品管理、修繕については常に点検等を行い、不具合等が発生した場合は迅速かつ適切な対応に努めること。			
A	B	C	D												
管理業務仕様書に沿って、適切な維持管理が行われている。															
適切に業務履行がなされている。 備品管理、修繕については常に点検等を行い、不具合等が発生した場合は迅速かつ適切な対応に努めること。															

<p><再委託業務></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空調・給排水・衛生設備保守管理業務委託 ・ 警備業務委託 ・ 清掃業務委託 ・ エレベーター保守管理業務委託 ・ 自動ドア保守点検業務委託 ・ 電話設備保守及び非常用呼出装置点検業務委託 ・ 自家用電気工作物保安管理業務委託 ・ 消防用設備等点検業務委託 ・ 塵芥処理業務委託 ・ 除排雪業務委託 	<p>再委託業者の決定にあたっては、指名競争入札、見積合せを実施して、透明性の確保を図った。</p>	<p>適切に実施されている。</p>																																																																									
<p>▽防災業務</p> <p>休日・夜間における自衛消防マニュアルを策定するとともに、10月及び2月に防災訓練を実施した。10月には避難訓練のほか消火器の操作説明、体験、2月にはAEDの使用法、体験の講習会を併せて行った。</p>	<p>計画どおり実施することができた。</p>	<p>適切に実施されている。</p>																																																																									
<p>(4)事業の計画・実施業務</p> <p>▽学習機会の提供業務</p> <p>▽教養講習会等事業</p> <p>利用者ニーズを反映した多彩な講座を展開し、身体障害者の生涯学習意欲の高揚を図った。</p> <table border="1" data-bbox="300 1048 1118 1955"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>平成28年度 回数／人数</th> <th>平成29年度 回数／人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">創造的活動</td> <td>生花教室</td> <td>23 / 159</td> <td>24 / 154</td> </tr> <tr> <td>短歌教室</td> <td>11 / 65</td> <td>12 / 87</td> </tr> <tr> <td>陶芸教室</td> <td>48 / 238</td> <td>48 / 309</td> </tr> <tr> <td>手芸教室（肢体）</td> <td>22 / 290</td> <td>24 / 286</td> </tr> <tr> <td>手芸教室（中失）</td> <td>11 / 92</td> <td>10 / 83</td> </tr> <tr> <td>絵画教室</td> <td>24 / 230</td> <td>24 / 208</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">社会適応活動</td> <td>手話教室（中失）</td> <td>43 / 1,250</td> <td>41 / 1,184</td> </tr> <tr> <td>ペン字教室</td> <td>19 / 327</td> <td>22 / 321</td> </tr> <tr> <td>料理教室（肢体）</td> <td>11 / 127</td> <td>11 / 135</td> </tr> <tr> <td>料理教室（中失）</td> <td>9 / 79</td> <td>10 / 107</td> </tr> <tr> <td>英会話教室</td> <td>24 / 313</td> <td>35 / 397</td> </tr> <tr> <td>トータルコミ（中失）</td> <td>6 / 254</td> <td>4 / 130</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">レクリエーション活動</td> <td>民謡教室</td> <td>41 / 557</td> <td>42 / 574</td> </tr> <tr> <td>カラオケ教室</td> <td>6 / 49</td> <td>12 / 79</td> </tr> <tr> <td>囲碁教室</td> <td>43 / 690</td> <td>38 / 523</td> </tr> <tr> <td>将棋教室</td> <td>- / -</td> <td>- / -</td> </tr> <tr> <td>茶道教室（肢体）</td> <td>24 / 176</td> <td>24 / 132</td> </tr> <tr> <td>健康づくり教室</td> <td>4 / 27</td> <td>4 / 27</td> </tr> <tr> <td colspan="2">総 計</td> <td>369 / 4,923</td> <td>385 / 4,736</td> </tr> </tbody> </table>			平成28年度 回数／人数	平成29年度 回数／人数	創造的活動	生花教室	23 / 159	24 / 154	短歌教室	11 / 65	12 / 87	陶芸教室	48 / 238	48 / 309	手芸教室（肢体）	22 / 290	24 / 286	手芸教室（中失）	11 / 92	10 / 83	絵画教室	24 / 230	24 / 208	社会適応活動	手話教室（中失）	43 / 1,250	41 / 1,184	ペン字教室	19 / 327	22 / 321	料理教室（肢体）	11 / 127	11 / 135	料理教室（中失）	9 / 79	10 / 107	英会話教室	24 / 313	35 / 397	トータルコミ（中失）	6 / 254	4 / 130	レクリエーション活動	民謡教室	41 / 557	42 / 574	カラオケ教室	6 / 49	12 / 79	囲碁教室	43 / 690	38 / 523	将棋教室	- / -	- / -	茶道教室（肢体）	24 / 176	24 / 132	健康づくり教室	4 / 27	4 / 27	総 計		369 / 4,923	385 / 4,736	<p>将棋教室については講師の退任に伴い、平成28年度から休止した。その他については、計画どおり実施することができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>適切に実施されている。今後も利用者の要望に応えるべく、新しい教室開設をさらに検討する等、利用者増加に向けた取組を行うこと。</p>	A	B	C	D				
		平成28年度 回数／人数	平成29年度 回数／人数																																																																								
創造的活動	生花教室	23 / 159	24 / 154																																																																								
	短歌教室	11 / 65	12 / 87																																																																								
	陶芸教室	48 / 238	48 / 309																																																																								
	手芸教室（肢体）	22 / 290	24 / 286																																																																								
	手芸教室（中失）	11 / 92	10 / 83																																																																								
	絵画教室	24 / 230	24 / 208																																																																								
社会適応活動	手話教室（中失）	43 / 1,250	41 / 1,184																																																																								
	ペン字教室	19 / 327	22 / 321																																																																								
	料理教室（肢体）	11 / 127	11 / 135																																																																								
	料理教室（中失）	9 / 79	10 / 107																																																																								
	英会話教室	24 / 313	35 / 397																																																																								
	トータルコミ（中失）	6 / 254	4 / 130																																																																								
レクリエーション活動	民謡教室	41 / 557	42 / 574																																																																								
	カラオケ教室	6 / 49	12 / 79																																																																								
	囲碁教室	43 / 690	38 / 523																																																																								
	将棋教室	- / -	- / -																																																																								
	茶道教室（肢体）	24 / 176	24 / 132																																																																								
	健康づくり教室	4 / 27	4 / 27																																																																								
総 計		369 / 4,923	385 / 4,736																																																																								
A	B	C	D																																																																								

▽文化活動育成事業

障がい者の社会活動への参加促進と生きがいの高揚を目的に、自主的に活動している文化クラブに対して活動費の助成を行った。

平成29年度助成クラブ内訳

クラブ名	活動状況
壺石会	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日 13:00～17:00 ・日常的な囲碁研究や春期大会への参加。 ・施設、団体との交流会の実施。
陶芸クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・第1・3火曜日 10:00～12:00 ・花瓶や壺などの製作実施及び文化祭での作品展示。

計画どおり実施することができた。
利用者から興味あるクラブを見学したいとの問い合わせをいただいた。

適切に実施されている。

▽スポーツ教室の開催

スポーツを通じて機能回復訓練や健康・体力増進を図るとともに、社会への積極的な参加促進を図った。

実施状況

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
卓球教室	実施回数	24	24	24	24
	延べ人数	217	283	315	348
アーチェリー教室	実施回数	21	23	23	18
	延べ人数	134	183	194	41
水泳教室	実施回数	22	38	40	39
	延べ人数	120	236	257	244

計画どおり実施することができた。

適切に実施されている。利用者の要望を把握し、活動内容の充実を図ること。

▽スポーツ活動育成事業

障がい者の社会活動への参加促進と生きがいの高揚を目的に活動しているスポーツクラブに対して活動費の助成を行った。

実施状況

クラブ名
札幌ハンディキャップテニス
ゲートボールクラブ
アーチェリークラブ
パークゴルフクラブ
卓球クラブ
ポッチャクラブ
水泳クラブ
車いすバスケットクラブ
ボウリング

計画どおり実施することができた。
9団体に活動費を助成した。

適切に実施されている。

▽機能回復訓練

運動訓練、日常動作訓練、物療訓練を医師・理学療法士・物理療法士各1名で実施した。実施状況は、つぎのとおりであった。

		運動・日常 動作・物療	水浴訓練	自主訓 練
平成 26年度	実施回数	153	93	181
	延べ人数	2,391	604	431
平成 27年度	実施回数	153	101	183
	延べ人数	2,473	629	737
平成 28年度	実施回数	145	85	190
	延べ人数	2,467	415	1,091
平成 29年度	実施回数	140	74	195
	延べ人数	2,172	214	998

設備の更新により利用しやすい環境づくりに努め、利用者が増加している。

適切に実施されている。今後も、必要に応じて適宜設備等を更新するなど、利用しやすい環境づくりに努めること。

▽言葉の教室

失語症の人を対象にグループ討論会などを通して総合的に言語訓練を行った。

実施状況

	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
実施回数	12	12	12	12
延べ人数	223	223	202	176

計画どおり実施することができた。

適切に実施されている。

▽失語症聴能言語訓練

指導員1名を配し、失語症障がい者を対象に自立促進と社会生活への適応力を高めることを目的に、発声や発語等の訓練を行った。

実施状況

	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
実施回数	42	27	43	37
延べ人数	238	124	203	195

計画どおり実施することができた。

適切に実施されている。

▽音声機能訓練・指導者育成

疾病などによって喉頭を摘出して音声機能を失った人を対象に、コミュニケーションの円滑化を進め社会参加の促進を目的に発声訓練を行った。

実施状況

	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
実施回数	38	37	41	37
延べ人数	759	744	780	680

計画どおり実施することができた。

適切に実施されている。

▽オストメイト社会生活訓練

ストーマ用装具を利用している人やその家族を対象に、社会生活に必要な知識を習得し、不安を取り除くことで社会参加の促進を図るための相談会を実施した。

実施状況

	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
実施回数	9	11	11	9
延べ人数	190	231	216	236

計画どおり実施することができた。

適切に実施されている。

▽就職・結婚・身の上相談等

就職相談、結婚相談、身の上相談等、障がいのある方の各種相談に応じ、必要な助言・指導を行った。また、就職相談については、公共職業安定所と連携し雇用の促進を図った。

実施状況

(人)

	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
就職相談	7	8	3	2
就職件数	0	0	0	0
結婚相談	40	35	39	18
身の上相談等	9	2	0	4

関係機関とも連携し対応することができた。

適切に実施されている。今後も相談窓口の周知に努めること。

(5)施設利用に関する業務

▽利用人数

☆通常使用目的 (人)

室名	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績
体育館	12,464	7,710	11,255	10,208
卓球室	5,167	5,266	4,881	4,887
研修室	6,795	6,781	6,943	6,411
第1会議室	2,280	1,819	1,808	1,784
第2会議室	2,222	2,055	1,946	1,954
第3会議室	1,665	1,516	1,496	1,505
音楽室	4,511	4,431	4,600	4,457
和室	4,363	5,304	3,838	3,881
大会議室	16,320	15,638	14,636	12,529
合計	55,787	50,520	51,403	47,616

☆特定使用目的

室名	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績
料理実習室	674	781	820	886
実習室	1,905	1,711	1,710	1,684
パソコン室	815	1,410	1,754	784
合計	3,394	3,902	4,284	3,354

▽稼働率

☆通常使用目的 (%)

室名	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績
体育館	80.4	74.3	74.5	72.4
卓球室	38.2	41.0	43.3	40.8
研修室	48.4	50.5	51.9	54.2
第1会議室	40.4	32.1	37.0	38.6
第2会議室	41.1	40.8	41.6	52.0
第3会議室	46.7	41.7	45.0	38.9
音楽室	48.1	47.6	50.6	48.1
和室	40.6	40.5	39.0	40.3
大会議室	62.6	66.6	67.0	62.3

☆特定使用目的

室名	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績
料理実習室	12.8	12.4	12.3	12.5
実習室	25.0	22.8	25.4	26.4
パソコン室	24.6	22.5	28.6	25.5

ホームページ等の各種媒体を利用したPRにより、利用者の増加を図っていく。

A	B	C	D

適切に実施されている。今後も、各種媒体を利用したPRにより、利用者増加に向けた取り組みを行うこと。

▽身体障害者福祉専用バス（福祉バス）の運行

身体障がい者の行事等への交通移動支援として、車いすリフト付きバス及び福祉車両（車いす移動車）を運行し、身体障がい者の社会参加促進を図った。

		大型バス	中型バス
H26年度	件数	163	116
	人数	4,634	2,433
	走行距離	12,182	7,513
	稼働率	66.80	47.13
H27年度	件数	165	125
	人数	4,764	2,730
	走行距離	10,748	8,541
	稼働率	67.49	51.44
H28年度	件数	166	123
	人数	4,451	2,516
	走行距離	11,338	8,314
	稼働率	68.31	50.62
H29年度	件数	176	147
	人数	4,742	2,767
	走行距離	12,147	9,646
	稼働率	72.13	59.84

		福祉車両（車いす移動車）		
		1号	2号	3号
H26年度	件数	37	10	0
	人数	174	27	0
	走行距離	1,576	338	0
	稼働率	15.16	4.10	0.00
H27年度	件数	34	12	0
	人数	160	41	0
	走行距離	1,310	286	0
	稼働率	13.99	4.94	0.00
H28年度	件数	17	8	-
	人数	73	27	-
	走行距離	637	215	-
	稼働率	7.00	3.29	-
H29年度	件数	22	5	-
	人数	113	17	-
	走行距離	981	198	-
	稼働率	8.61	2.05	-

車両が老朽化していることから、修繕しながら対応した。福祉車両（車いす移動車）1台（3号）は、27年度限りで廃止した。

適切に実施されている。福祉バスの老朽化に伴う更新等については、今後も協議していく。

▽障害者社会参加推進センター運営事業

＜身体障害者関係各種会議（研修会）への出席＞

- (1) 日本身体障害者福祉大会
平成29年5月30日～31日（岐阜県）
- (2) 日本身体障害者団体連合会理事会・評議員会
＜理事会＞
平成29年 5月15日（東京都）
平成29年12月21日（東京都）
＜評議員会＞
平成29年 5月30日（岐阜市）
平成30年 3月27日（東京都）
＜施策等検討委員会＞
平成29年10月16日（東京都）
平成30年 2月 1日（東京都）
- (3) 東北・北海道ブロック身体障害者団体連絡会
平成29年 6月22日～23日（青森市）
- (4) 政令指定都市身体障害者福祉団体連絡協議会
平成29年 9月 2日～ 3日（仙台市）
平成30年 2月23日～24日（横浜市）
- (5) 東北・北海道ブロック身体障害者相談員研修会
平成29年11月16日～17日（盛岡市）

＜身体障害者関係各種研修会の開催＞

障害者別団体交流会研修会
平成29年11月14日（札幌市身体障害者福祉センター）

＜民生・児童委員・地区福祉団体との懇談会出席＞

平成29年 6月23日（西区民センター）

＜札幌市障害者社会参加推進協議会＞

平成29年 7月28日（札幌市身体障害者福祉センター）

計画どおり実施することができた。

適切に実施されている。今後も引き続き、障害者関係団体との交流会等を通じて、情報交換を行い、連携を深めていくこと。

(6)付随業務

▽広報業務

施設のPRや情報提供のため、ホームページの更新等を行った。
また、小中学校の「総合的な学習」や「福祉に関する授業」、団体の施設見学者の受入を行った。センターに来館した児童・生徒・見学者に対し、身体障がい者の疑似体験や車いすの介助方法、福祉用具の説明等を行い福祉に対する理解の向上を図った。

（主な受入団体）

- 平成29年7月14日
倶知安中学校職場訪問（6名）
- 平成29年8月15日
北翔大学生涯スポーツ学部健康福祉学科（6名）
- 平成29年9月7日
北海道科学大学理学療法学科臨床見学（40名）
- 平成29年10月12日
北海道石狩翔陽高等学校（4名）
- 平成29年11月7日
二十四軒小学校施設見学（62名）

合計118名

計画どおり実施することができた。

A	B	C	D

適切に実施されている。今後は指定管理者で説明できる部分を増やしていくこと。

▽身体障害者福祉月間行事等

10月を「身体障害者福祉月間」とし、身体に障がいのある方の社会参加の促進や身体障がい者に対する市民の理解を深めていくことを目的に、次の各種行事を実施した。

(1) 文化祭

日ごろの障がい者の文化活動の紹介と地域の方々との交流を目的に、作品展示や楽器演奏等の催しを実施した。

日時 平成29年10月15日(日)
 場所 肢体障害者福祉協会・中途失聴・難聴者協会主催
 参加 約350名

日時 平成29年10月22日(日)
 場所 視覚障害者協会主催
 参加 約300名

なお、聴覚障害者協会も例年開催しているが、平成29年度は協会創立70周年記念事業開催のため文化祭は中止された。

(2) 金婚・銀婚をねぎらう会

結婚25年・50年を迎えた人のお祝いと、その労をねぎらい、対象者5組に記念品を贈呈した。

日時 平成29年10月7日(土)
 場所 身体障害者福祉センター
 対象者 金婚8組、銀婚1組

(3) ありがとうごころうさまの集い

障がいを克服し、模範的自立更生を遂げた人に対して、これまでの労をねぎらい表彰を行った。

日時 平成29年10月19日(木)
 場所 ホテルライフオー札幌
 表彰者 札幌市長表彰 2名
 身体障害者福祉協会会長表彰 4名
 感謝状贈呈 6名

(4) 未婚者の集い

身体に障がいのある人の結婚相談の一環として未婚者を対象に昼食会などを開催し、出会いと親交を深める機会を設けた。

	日時	会場	参加人数
第1回	平成29年9月30日	ANAクラウンプラザホテル札幌	37名
第2回	平成30年3月4日	ホテルライフオー札幌	34名

札幌市との合同開催で成功裏に終了することができた。

適切に実施されている。

未婚者の集いについては、広報さっぽろ等に掲載し、広く周知したことなどにより、多くの申込みがあった。しかし、女性の申込みが少なく開催が危ぶまれたが無事開催できた。

適切に実施されている。

2 自主事業その他

<p>▽自主事業</p> <p>▼食事提供事業</p> <p>売上高 2,743千円 (計画2,900千円)</p> <p>利用件数 約5,390人</p> <p>(前年度売上高 2,804千円 計画 2,900千円)</p>	<p>ほぼ計画通りの売上を確保できた。今後、メニューの工夫などにより更に売上増に努めたい。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: #FFD700;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>適切に実施されている。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D			
<p>▽市内企業等の活用・福祉施策への配慮等</p> <p>警備、保守点検業務等の再委託は、市内の企業に、また清掃業務は、知的障害者を雇用している社会福祉法人に発注した。</p>	<p>市内企業、福祉団体を積極的に活用した発注をすることができた。</p>	<p>適正に実施されている。</p>				

3 利用者の満足度

<p>▽ 利用者アンケートの結果</p>		<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: #FFD700;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table>	A	B	C	D	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: #FFD700;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table>	A	B	C	D
A	B	C	D								
A	B	C	D								
<p>実施方法</p>	<p>7月10日～7月31日実施</p> <p>来館者203名に配布(そのうち視覚障害者に配慮し、点字版1枚、拡大版11枚配布)して実施。(回答は、良い、どちらかといえば良い、どちらかといえば悪い、悪いの4段階評価)</p> <p>回答者164人 (回収率80.79%)</p>	<p>各項目とも90%以上の高い評価をいただいた。アンケートの結果については、館内に掲示し利用者に周知した。</p>	<p>利用者アンケートの結果で、「全体の満足度」及び「接遇」に対する評価が高かったことについては、評価する。今後も引き続き、可能な限り利用者の要望に応えられるよう努めること。</p>								
<p>結果概要</p>	<p>全体の満足度は、要求水準が80%のところ99.4%の満足度評価を得た。</p> <p>接遇については、要求水準が80%のところ96.6%だった。</p> <p>その他、館内の清潔さ97.7%、教室・機能回復訓練室の利用95.4%、食堂の利用90.0%の満足度であった。</p>										
<p>利用者からの意見・要望とその対応</p>	<p>[要望]</p> <p>ゴミ箱は分別と位置をわかりやすく表示してほしい。手すり付近には置かないでほしい。</p> <p>[対応]</p> <p>廊下に配置していたゴミ箱は、各階A棟のエレベーターホールに集約し、分別の表示も大きくし点字の表示もするように改善を図った。</p> <p>[要望]</p> <p>体育館のよごれが見える。</p> <p>[対応]</p> <p>清掃回数を増やすなど柔軟に対応することとした。</p> <p>[要望]</p> <p>料理実習室の備品が不足していたり、包丁のキレが悪い。</p> <p>[対応]</p> <p>必要備品の申出により、予算の範囲内で対応する。包丁砥ぎの回数を増やすことも検討する。</p>	<p>利用者からの要望については、真摯に受け止め対応した。指定管理者で対応が困難な事項については、その都度、札幌市と協議し対応した。</p>									

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	H29計画	H29決算	差(決算-計画)
収入	114,496	118,327	3,831
指定管理業務収入	114,496	118,327	3,831
指定管理費	114,276	114,276	0
利用料金			0
その他	220	4,051	3,831
自主事業収入			0
支出	114,496	118,327	3,831
指定管理業務支出	114,496	118,327	3,831
自主事業支出			0
収入-支出	0	0	0
利益還元			0
法人税等			0
純利益	0	0	0

予算執行にあたっては水道光熱費で節減を図った。利用に支障をきたさないよう、設備の修繕、車両整備等の支出が嵩んだが、他は概ね計画に沿って執行できた。

A	B	C	D

経費節減の努力を評価する。今後も引き続き、業務の効率化により、さらなる経費節減に努めること。また、施設設備の点検を行い、修繕、備品購入を計画的に行うこと。

▽ 説明

その他収入には、収益事業等会計からの振替額4,051千円を含む。
 支出については、水道光熱費、什器備品費等で経費の節減を図ったが、施設を安全、快適に利用してもらうため修繕費、委託業務費等の経費が予算を上回ったため4,051千円の予算超過となった。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

当協会の財務状況等は、経常収益は減少しているが、支出の削減で対応している。また、法人の管理運営資金として十分な固定資産を保有しており、安定経営能力を維持している。

適 不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

各条例の規定に則り、全て適切に対応した。

協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。

適 不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>貸館については、例年行われている文化祭等のイベントが行われず、昨年度と比し、利用者が減少しているが、件数、稼働率はともに横ばい状態であった。</p> <p>福祉バスの運行については、中型バスが更新されたこともあり、運行件数が増加している。</p> <p>また、アンケート等による利用者からの要望については、可能な事柄から改善を図った。</p> <p>今後も引き続き、実施事業、利用者アンケート結果の分析、課題等について検討し、業務改善を図っていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な修繕等の実施 ・教養講習会等の事業の充実

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>利用者の高齢化が進むなか、利用率の低下が懸念されるところであるが、過去3年間(H27～29年度)の福祉センター利用者数の推移を見ると、平成27年度は体育館の改修工事(平成27年8月31日から平成27年12月18日まで)の期間中の体育館使用休止の影響から、体育館の利用者数の減少があったものの、平成29年度の利用者数は昨年度より一割程度減っており、今後も引き続き利用者数の増加につなげるべく、ホームページや広報さっぽろ等を通じて情報発信し続けることが必要である。また、利用者アンケートの活用等により、利用者の要望を把握しつつ、更なる利便性の向上に向けた取り組みを行うよう指導したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設、設備、備品等の老朽化に伴い、計画的に優先度の高い設備等から順次更新を図るべく、検討すること。 ・利用者のニーズに合った新しい教室開設について検討すること。 ・接遇研修の充実を図り、利用者への対応力向上に努めること。 ・管理運営上の課題等を把握し、業務改善への取り組みに努めること。